

平成 28 年度 鳥羽志摩中学校総合体育大会 野球の部 要項

1. 期日及び会場

- ◇ 第 1 日目：7 月 1 6 日（土）・・・長沢球場（N）
- ◇ 第 2 日目：7 月 1 7 日（日）・・・長沢球場（N）・鳥羽中央公園野球場（T）
- ◇ 第 3 日目：7 月 2 1 日（木）・・・長沢球場（N）
- * 予備日：2 2 日（水）・2 3 日（木）【雨天順延】

2. 使用球

* 公認ナガセケンコー B 号（1 試合につき各校 3 球提出）

3. 責任者

- * 長沢会場：会場責任（村井【東海】），記録・競技（松本【答志】），弁当（谷川原【磯部】）
- * 鳥羽会場：会場責任（前田【加茂】），記録・競技（石川【大王】），弁当（塚原【浜島】）

4. 競技規定及び申し合わせ事項

- (1) トーナメント方式とする。組み合わせは別記の通り。
- (2) ルールは、2016 年度公認野球規則とするが、5.10 (b) と 5.10 (1) は除外する。
 - ※5.10 (b)：投手は同一イニングに投手以外の守備に 2 度以上つくことは許されない。
 - ※5.10 (1)：監督またはコーチが、1 イニングに同一投手のもとへ 2 度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。
- (3) 各試合 7 回戦。得点差によるコールドゲームは 5 回以降 7 点差とする。（優勝戦も適用する）
 - ※日没・降雨・雷などによるコールドゲームは、5 回以降に適用し、イニングの終了時に適用する。
 - その時点で勝敗の決しない時またはそれ以前の場合は、特別継続試合（サスペンデッドゲーム）とする。
 - ※決定は本部・専門部長・審判団の協議により決定する。
- (4) 7 回で勝敗の決しないときは、8 回より特別延長（無死満塁・継続打順）を行う。
準決勝・決勝についても同様とする。9 回を終了して決着がつかないときは、**抽選で勝敗を決定する。**

※抽選方法は、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが終了挨拶の状態に整列し、○印、×印各 9 枚、18 枚の封筒を球審が先攻チームより一枚ずつ交互に選ばせる。二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

- (5) 抗議は一切認めないが、監督と当該プレーヤーのみ説明を求めることができる。
- (6) 監督は当該校の教員、コーチは当該校の教職員及び、学校長が認めた継続指導をしているコーチとする。
- (7) ベンチは若番を 1 塁側とし、ベンチ入りはスコアラーを含めて 18 名以内とする。ただし、本大会はベンチ入りの人数を **19 名以内**とする。スコアラー、ボールボーイは含めない。
- (8) 試合出場人数は、背番号をつけている 18 名以内とする。
- (9) ベンチ入りの顧問は学校関係者 3 名以内とする。（監督は背番号「30」をつける）
 - * 選手、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニホームを着用すること。
 - * **コーチも 29、28 番を可能であればつけて下さい。**
- (10) 第 1 試合のメンバー用紙交換、攻守の決定等は、試合開始予定時刻の 40 分前とし、第 2 試合以降は前試合終了後とする。（打順表は 4 部提出すること）

(11) シートノックは後攻から始めて**5分以内**とする。(補助員はユニフォーム着用(練習用可)のうえ必ずヘルメットを着用すること)相手チームのノック中は、危険防止のためベンチから出ない。ただし、ブルペンでの投球練習は除く。(捕手は必ずレガース・プロテクター・マスクを着用すること)。

投手が守備練習のためにマウンド付近を使用することを禁止する。

(12) 捕手は、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・スロートガード・ファールカップ、打者・次打者・走者・およびランナーコーチャーは、両耳ヘルメットを着用する。

(13) 次打者はネクストバッターズサークルに入り、サークル内へは試合で使用できるバット1本しか持ち込めない。

(14) **マスコットバット、バッドリング、鉄棒、公認球以外のボールなど試合で使用しない物の球場内への持ち込みは禁止する。**

(15) リストバンド、ハイカットストッキング、エルボーガード等の使用を禁止する。
ただしサポーター(手首や指を固定・保護する目的の物)の使用は医療目的に限り試合前に大会本部に申し出て許可を得る

(16) 本大会の優勝チームは、鳥羽・志摩代表として県大会に出場する。

※表彰については、1位1校、2位1校、3位2校とする。

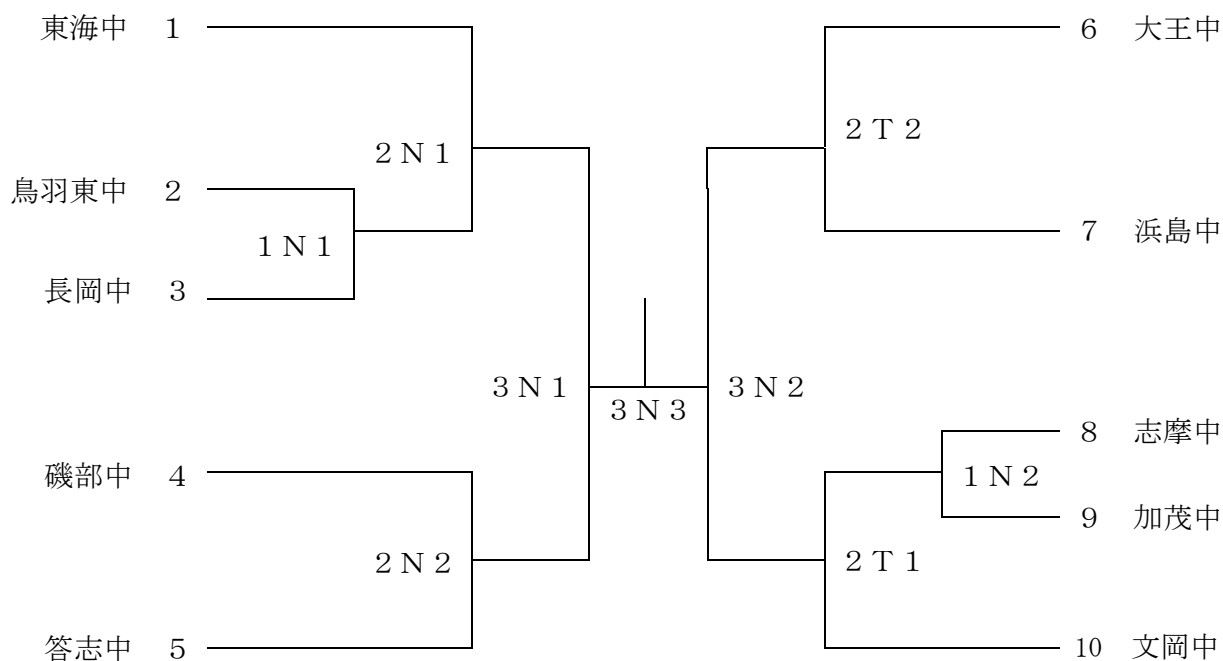
(17) 人権を無視したり、相手を傷つけるような応援は絶対にしない。

(18) メガホンは、ベンチに1個持ち込むことができる。

(19) **投手の投球制限については、1日7イニングまでとする。ただし特別延長戦の直前のイニングを投げきった投手に限り、1日最大9イニングまで投げる事ができる。(ただし、決勝戦に投げる投手の投球制限を設けない)**

投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。ダブルヘッダーの場合は、メンバー用紙交換時に必ず投手(前の試合に登板した全ての投手)の投球イニングを報告する。

5. 組み合わせ



※ 選手宣誓は2番です。

6. 試合開始時刻

- 第1日目 (N会場) 【※ 開会式・・・9:00～】
第1試合 9:30 第2試合 11:30頃
- 第2日目 (T会場、N会場同時刻)
第1試合 9:30 第2試合 11:30頃
- 第3日目 (N会場)
第1試合 9:30 第2試合 11:30頃 第3試合 第2試合終了45分後

7. 審判

- 第1日目 (複数顧問の学校は大会運営の協力をお願いします)
1N1 (1・4・5) 1N2 (6・7・10)
 - 第2日目 (複数顧問の学校は大会運営の協力をお願いします)
2N1 (1N1敗・4・5) 2T1 (6・7・1N2敗)
2N2 (1・2・3) 2T2 (8・9・10)
 - 第3日目
3N1 (1N1敗・1N2敗・2N1敗・2N2敗)
3N2 (1N1敗・1N2敗・2T1敗・2T2敗)
3N3 (3N1敗・3N2敗・1N1敗・1N2敗)
- ※ 審判の足りない部分は外部審判に入ってください。

8. その他

- (1) 各会場とも毎日のゴミ処理・グラウンド整備は、最終チームが必ず担当して下さい。
- (2) 審判は、試合の30分前には集合し、準備にあたって下さい。
- (3) 優秀選手は、3日目の第2試合終了後、本部席にて決定します。
※優秀選手は、1勝以上のチームから1名、準優勝チームは2名、優勝チームから2～3名を原則に、計10名以内になるように選出する。
- (4) サブグラウンドの使用の仕方や駐車場から球場への移動等、ルールとマナーに気を付けてください。特に長沢球場の駐車については、保護者の方への周知徹底をお願いします。
- (5) 離島の生徒が6時55分の定期船に乗船できない場合は順延とする。(6時30分くらいの決定になりますので各校待機等の準備をお願いします)
- (6) 学校数の減少により、運営等が厳しくなっています。顧問・副顧問関係なく、また一日目で敗戦しても二日目・三日目の運営の協力をよろしくをお願いします。
- (7) 大会1日目、文岡中学校が長沢球場のサブグラウンドで練習を行います。(文中のグラウンドがサッカー会場となり練習場所の確保が困難なため)
- (8) 手首を固定するサポーター等の使用は、医療目的なら可。ただし、相手チームの了解を得ること。単に固定目的なら不可。
- (9) 各日程の、第二試合目の学校の先発投手は、前の試合の4回終了後、グラウンド内のブルペンでの投球練習ができる。ただし、試合中の学校の使用を優先する。投球練習の際は、スパイクを履くこと。捕手は、試合と同じ防具を着けて捕球すること。
- (10) 開会式は、基本的には全校が参加する。ただし、一日目に試合のない学校のみ、代表者2名以上による参加が認められてる。ただし、学校事情により参加できない場合は、参加しなくてもよいが、専門部長に必ず連絡すること。(昨年度の優勝校はできるだけ参加して下さい、優勝旗返還があるので)